

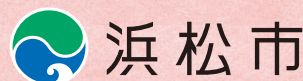
一人ひとりができる!
気候変動の影響への

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「適応」

目で見える適応策



気候変動によって、以前よりも今の方が暑くなっていたり(地球温暖化)、短時間で降る大雨が増えてきたと感じている方も少なくないのではないのでしょうか。

暑さが厳しくなった



短時間で降る
大雨が増えてきた



こうした気候の変化は、私たちの健康や気象災害の発生などにも様々な「影響」を与え、しかも、その「影響」が今後、さらにひどくなっていくかもしれないのです。

暑さにより
熱中症患者が
増えるかも…



短時間大雨により
浸水被害が
増えるかも…

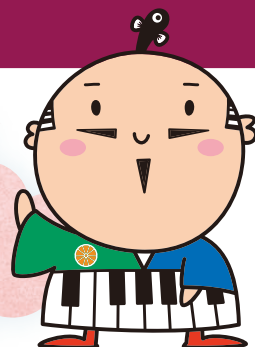


では、どうしたらいいのでしょうか？

その答えのひとつが、
気候変動の影響への「適応」です。

「適応」とは、気候変動の影響にあらかじめ備え、社会の仕組みや、一人ひとりの生活のあり方を変えることなどを言います。

一人ひとりが
できる適応策を
見てみるのじゃ!



例 1 健康を守るための「適応」

気温上昇による熱中症への「適応」は、水分や塩分をこまめに補給する、エアコンを適切に使用する、クールビズ(衣類の軽装化)を行う、帽子を被る、壁面緑化(グリーンカーテン)を行う、日傘を使用するなどです。これらは健康を守るための「適応」です。



水分・塩分の補給



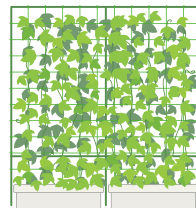
エアコンの適切使用



クールビズ



帽子を被る



壁面緑化



日傘の使用

例 2 気象災害から暮らしを守るための「適応」

大雨による浸水、洪水、土砂災害などへの「適応」は、気象情報を確認する、ハザードマップ(洪水や土砂災害の被害予想地図)を確認する(浜松市ホームページから確認できます)、浜松市防災アプリを使って避難所を確認する、緊急時に備えた備蓄を強化するなどです。これらは気象災害に備え身を守るための「適応」です。

浜松市防災アプリ



ここからダウンロード

いざというときの避難場所確認に加え、区版避難行動計画による防災学習にも使うことができます。



気象情報を確認



ハザードマップを確認



備蓄品を揃える

浜松市ホームページ

ハザードマップ

検索

「2つの気候変動対策」どちらも欠かせません！

気候変動には、もうひとつ大切な対策があります。それは、気候変動の原因とされる温室効果ガスの排出を抑える「緩和」です。影響に備える「適応」とともに、どちらの努力も続けることが大切です。

かんわ
緩和

省エネ・省エネ
家電の普及

原因を少なく

OFF CO₂

温室効果ガス削減

エコカーの普及

CO₂

再生可能エネルギーの活用

森林を増やす

CO₂を地中に注入して閉じ込める

2つの
気候変動
対策

影響にそなえる

水分補給で
熱中症予防

感染症予防のため
虫刺されに注意する

水不足にそなえて
節水・雨水利用などの
工夫をする

堤防を高くて
災害から守る

高温でも育つ農作物の
品種開発や栽培

てきおう
適応

「緩和」と「適応」
2つとも
おぼえるのじゃ



一人ひとりが
「適応」について理解を
深め、行動していくことは、
未来の世代のためにも
たいへん重要なのじゃ



SDGs 未来都市・浜松
市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

企画・編集 浜松市 環境部 環境政策課 (Tel.053-453-6154)
出典 国立環境研究所気候変動適応センター



気候変動適応情報プラットフォーム (A-PLAT)
adaptation-platform.nies.go.jp

2020年3月31日